

2026年1月 年頭ごあいさつ

理事長 桜井 俊



本年もよろしくお願いいたします。

当財団は、情報通信ネットワークの安心・安全な利用や利用促進に向けた実践的な活動及びICT（情報通信技術）や郵便の事業分野におけるグローバルな視点から行う調査研究を中心に活動を行っております。経済安全保障上のリスクや昨今頻発する自然災害、巧妙化するサイバー攻撃などに的確に対応するとともに、持続的な経済成長を実現するためには、ICTを有効に活用することが不可欠となっています。当財団としまして、こうした状況を踏まえつつ、ICTによる我が国の社会経済の発展と国民生活の安心・安全の実現に寄与すべく、事業活動に取り組んで参ります。

具体的には、ネット安心・安全講座「e-ネットキャラバン」につきましては、最近のスマートフォンやSNSの動向を反映して2025年10月に開始した新たな講座内容により児童、生徒等への啓発活動を進めるとともに、教材の更なる充実等に取り組んで参ります。また、情報通信の安心安全な利用のための標語の募集や入賞した標語を活用した啓発活動等につきましても、ICTリテラシーの向上に向け積極的に取り組んで参ります。

災害発生時等の全国的な情報伝達ネットワーク基盤である「Lアラート」につきましては、2011年の運用開始以来、当財団が運営を担ってまいりましたが、システムの安定性及び持続可能性の観点から国へ移管される方針となり、本年12月より国において運営することとなっております。移管までの間、「Lアラート」を引き続き安定運用するとともに、円滑な業務移管に向けた取組を着実に進めて参ります。

調査研究活動につきましては、世界各国の最新のICT政策動向等を徹底リサーチするとともに、「ワールドニュース」や「ICTグローバルトレンド」などを通じて、タイムリーに海外の最新のICTビジネスを巡る情報を提供しております。今後も、新たな産業・技術トレンドに着目し、世界各国の政策・市場動向の変化や国際動向等について調査・分析し、当財団ならではの視点から社会へ積極的に情報発信し、我が国社会経済の発展に貢献して参りたいと考えております。

講演会の開催につきましては、今後も定期的にFMMC研究会、情報通信月間講演会等を開催し、ICT分野の政策動向やビジネスの新たなトレンドに関する最新情報を会員の皆様をはじめ広く一般に提供して参ります。

本年も、職員一同、皆様との緊密なコミュニケーションを通じて、財団活動の充実・強化に精力的に取り組んで参りますので、引き続きのご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願いいたします。